

【一般来場者用】

コミュニケーションカードを記入

皆様の自己PRなどを記入する用紙です。
複写式となっていますのでご記入後、入場時に
受付へ提出してください。

訪問する出展団体の担当者等へ提出してください。
4出展団体以上を訪問する際には再度コミュニケーションカードをご記入ください。
※氏名とお電話番号は必須となります。

ご不明な点は、近くのスタッフまでお声かけください。

★本日のプログラム

13:00 フェア開始

興味・関心のある出展ブースをご自由に訪問ください。
フェアは16時00分までです。時間に限りがありますので、
積極的に出展団体のブースを訪問しましょう。

16:00 終了

※本フェアは、入退場自由です。

●漁業就業支援フェアとは

◆誰でも気軽に参加することができ、漁業についてまるごとわかるフェアです

- すでに漁師になる準備が出来ている人から、漁業に興味・関心があり選択肢のひとつとして漁業を考え始めたばかりの人、まずは漁業を知ってみたい人まで、誰でも気軽に参加することができます！

※本日のフェアは面接ありきではありません。まず漁業に興味がある方は各ブースにて漁業の内容等をお気軽にご質問して下さい。

◆『新人漁師を募集している漁協・漁業団体』と 直接、話をする場

- 現場の漁師や漁協職員等から、“リアル”な漁師生活について聞くことができる！

◆フェアでマッチングした場合は、研修制度が活用できる

- まずは研修生として、漁師になるための技能やノウハウを地域で直接学ぶことができるの未経験者でも大丈夫！
- 研修生になるための3つの条件

- ①漁業未経験者であること（1年以内の経験なら可）
- ②受入漁業者と親戚関係ないこと（3親等以内）
- ③研修終了後、必ず研修先に就業すること

～漁業研修生になるための注意点～

- 研修期間が長いので、しっかり意志を固めた上で研修に入ること。中途半端な気持ちで研修に参加すると挫折する可能性が高い。
- 研修内容、研修中や就業後の待遇、生活環境等を受け入れ先と十分に話し合い、しっかり確認してから研修に入ること。
>>詳細につきましては、P 4 「出展団体ブースでの面談について」をご覧下さい。
- 研修候補生として採用される場合は、後日受け入れ先から連絡があります。本日面談で確認した研修内容が自分に合うかしっかりとと考え、納得した上で研修に入ること。
- 研修生には、一定のアルバイト代が支払われたり、その他、研修地までの移動費、住宅手当などの補助が受けられることもありますので、研修に入る前に確認すること。

※研修に入るに当たり、研修中の条件等について研修先の漁業者との間で事前にしっかり話し合い、後でトラブルが起こらないようきちんと取り決め、確認のための文書を作成してもらって下さい。

●フェアの歩き方

まずは、受付へ

受付にて、配布資料を受け取ってください。
不備がございましたら、お近くのスタッフまでお申し付けください。

＜配布資料＞



受付で資料を受け取ったら・・

記入コーナー・オリエンテーションコーナー

まずは、コミュニケーションカードに記入。記入後、訪問したブースへご提示ください。退場時に、記入したコミュニケーションカードを受付へ提出して下さい。

※カードの記入は必須とさせていただきます。出展団体の方が研修生や漁師として迎え入れたいとお考えの場合、このカードに記入されている連絡先へ連絡します。

複写式となってい
ます・ボールペン
等で強めにしつ
かりとお書きくだ
さい。

会場へ

～会場内は、自由にあまりください～

漁師さんに直接相談

出展団体ブース（個別相談）

沖縄の漁師さんや漁協職員と直接面談できる貴重な機会です。気になる出展団体があれば、是非面談してみてください。

>>p3「面談について」もご覧下さい。



フェア終了後について

●フェア参加～フェア終了後の流れ

フェア参加(本日)

興味や関心をもった出展ブースを訪問して、漁師さんの生の声を聞いてみる。

研修生になるためには、受入団体と面談して双方の合意が必要となります。

研修候補生の連絡(フェア終了後)

研修候補生として採用される場合は、受入機関（出展団体）から直接皆様へご連絡をいたします（目安としてフェア数日後）。

※採用されなかった場合には、連絡等はございませんのであらかじめご了承ください。ただし、出展漁業と連絡を取り合いながら、数か月後に受入機関から採用等のご連絡がいく場合があります。

最終の意思確認(研修開始日、引越し日などの調整)

研修を経て漁師になる最終の意思を確認した上で、研修開始日や引越し日などを調整します。

現地での漁業研修 スタート！

漁労技術研修 (二次受入機関:漁家、漁業会社)

研修生が漁師になるための技能・技術を学ぶ
漁業現場での実践的な研修です。

研修期間等は
受入機関により
異なります。



漁師として就業

【参考】出展団体ブースでの面談について

出展団体ブースでは、受付時にご記入いただきましたコミュニケーションカードの内容をもとに、漁師さんとお話しをしていただきます。その際には、研修中や就業後の条件等をしっかりと確認してください。

下記に面談時に確認したほうが良いと思われる項目についてまとめましたので、参考にしてください。

本日のように、複数の漁師の方や関係者等が集まる機会はあまりございません。以下の項目を参考に、1ブース当たり20分程度と効率良く、積極的に多くのブースを訪問することをオススメします！

▼面談での確認項目

どういう研修内容なのか？

- | | |
|-------------|---|
| ○研修する漁業の内容→ | • どういう魚をどんな方法でいつ獲るのか、餌は何か |
| 1日の操業→ | • 出港前の準備は、いつ出港し、いつ魚を獲り、いつ帰港するのか、船酔いはどうか |
| | • 帰港後に何をするのか、仕事の終わりは何時か |
| | • いつ食事をとるのか、寝る時間はあるのか |
| 年間の操業→ | • いつからいつまで操業するのか（休漁期間はあるのか） |
| | • 1年中同じ漁業をやるのか |
| | • 研修生として始めにやるのはどんな作業か |
| | • どの作業が難しいか |
| | • 危険な作業があるのか |
| | • 1人前になるまで何年かかるのか |

どのような生活スタイルなのか？

- | | |
|--------------|-----------------------|
| ○研修中、就業後の待遇→ | • 賃金はいくらか |
| | • 支払日はいつか、労働時間はどれくらいか |
| | • 休日はあるのか、いつとれるのか |
| ○住環境→ | • 住居はあるのか、家賃はいくらか |
| ○生活環境、人間関係→ | • 生活環境はどうなのか、遊び場はあるのか |
| | • 漁村の人間関係はどうなのか |
| ○支援内容→ | • 保険に入るのか、どんな保険か |

※研修制度の内容については、「就業フェアのスタッフ」がご説明します

▼漁師の仕事について

漁師の仕事のメリット	漁師の仕事のデメリット
自然の中で仕事ができる 本物を実感できる 仕事の達成感が味わえる 大漁の喜びが味わえる 人間関係が濃密	仕事時間、休日が不規則 夜と昼が逆転 給与が不安定 3交代が多い 大人の遊び場が少ない

漁業を仕事にしたい人のための就業情報サイト

漁業を仕事にしたい

●全国漁業就業者確保育成センター「漁師.jp」

URL : <http://ryoushi.jp>

漁師

検索

携帯の方はこちら ➔

